

令和5年度

鹿児島県レクリエーション協会 活動方針

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類が2類から5類に引き下げられた中でのスタートとなります。しかしながら、すべてがコロナ発生前と同様の社会に戻るとは言えない状況は続くと思われま

す。名実ともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代での共生レクリエーション社会といえます。

コロナと共に生きる時代となり、デジタル化が進む中でもフィジカルディスタンス（肉体的距離）を広く取り、メンタルヘルスディスタンス（心的距離）を密に進めるレクリエーション的コミュニケーションが重要な時代になったといえます。

私たちはこれまで、「集団」を意識したレクリエーション活動が主流であった面を強く感じます。しかし、今回のコロナショックで痛感させられたように「集団」へのアプローチには限界が生じました。本来人間が生きてい

る中で「生きる喜び」とは何だったのか再認識する時代が到来していると言えます。日々の生活の中で感じる「楽しさ」「嬉しさ」「生きがい」などを、それぞれの人々「個」へも届ける、アドバイスし（する）、寄り添うことがレクリエーション活動の目標の一つと言えます。

様々なレクリエーション活動（材）を活用し、県内各地で身近な人々にレクリエーションの楽しさを伝える「伝道者」的使命が到来しているのかもしれませんが。

これからも、レクリエーション支援（指導）者はもとより各種目団体の指導者の皆様と共に「生きる喜び」を伝えていくための活動を目指します。

そのため以下の活動を提案いたします。

- 1 地域レクリエーション協会訪問事業
- 2 種目団体との交流促進事業
- 3 有資格者の講師状況の把握、講師バンクの充実及び若手の積極的活用
- 4 創立50周年記念大会に備える
- 5 協会の財政健全化に取り組む
- 6 ホームページのリニューアル及びSNSの活用